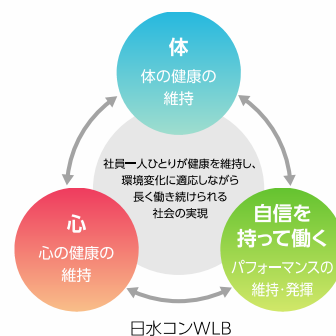


日水コンWLB (Work Life Balance)

潤いある未来へ

日水コンは、「水」を専門とした建設コンサルタントであり、創業以来「経営資本である人を大事にする会社」です。社員が健康で生き生きと、自分らしく働ける会社を目指して、3つの要素（「体（体の健康の維持）」「心（心の健康の維持）」「自信を持って働く（パフォーマンスの維持・発揮）」）の好循環が重要であると考え、この循環を「日水コンWLC（Work Life Circulation）」と呼び、健康経営体系として位置づけています。また、WLCの一環として、社員と会社が丸一となってワークライフバランスの向上に取り組んでいます。



ワークライフバランスを推進する取組み

自信を持って働く

日水コンでは「フレックスタイム制度」や、「在宅勤務制度」、「時短勤務制度」等の活用による個々の状況に応じた柔軟な働き方が推進されています。

ワークライフバランス

仕事とプライベートがトレードオフにならないよう、フレックスタイム制度をはじめとした各種制度を活用して、自分に合った働き方を自主的に選択できます。子育て世代に限らず、全従業員がワークライフバランスの推進に取り組んでいます。もちろん、業務に支障が出ないようスケジュール管理や周囲との調整等、工夫しなければならぬ側面もありますが、メリハリのある働き方は、人生を充実させる方法の一つです。

こんな働き方をしています



ピークを避けてゆったり通勤するため、フレックスタイム制度を利用して、8:00～16:00勤務に。終業後は早めに帰ってプライベートを充実させています。
※コアタイム4時間あり



育児と仕事を両立するために、時短勤務と週2日の在宅勤務を組み合わせて働いています。
※時短勤務は小学校3年生まで取得可

自分に合った働き方を～育児休業制度を活用～

最近増えつつある“育児休業を取得した男性社員”にインタビューしました。

Q.育児を取得しようと思ったきっかけは？

3人目の子供が生まれたことをきっかけに育児を取得しました。乳児を抱えながら、上の子の幼稚園の送り迎えは大変だろうとのことで、夫婦で話して取得を決めました。

Q.育児取得に当たって不安だったことは？

業務を抱える中で、現実的に育児を取得できるのかどうかと、具体的な補助・制度適用期間等がわからず不安でした。社内Slackで育児チャンネルがあり、育児経験者にフランクに聞ける場があったので、これを活用して情報収集しました。

Q.育児から復帰する際に不安だったことは？

意外とないんですよ（笑）。同じ課の皆さんが引継対応してくれたおかげです。

Q.何か一言

育児に関してもそうですが、上司や同僚は相談すると親身になって聞いてくれますし、各種制度は隠せず活用できる雰囲気があります。自分のライフを充実させるには良い会社です！



<31歳技術職・Tさん>

スポーツで健康増進・リフレッシュ！

体の健康の維持

ウォーキングイベント等の施策を企画・実施するほか、全社で約30のクラブが活動しており、外部実施の野球大会、駅伝大会等、健康イベントへ積極的に参加しています。クラブ活動を通じてリフレッシュを図るほか、普段は業務で関わらない他部署社員とのコミュニケーション活性化にも役立っています。運動部以外のクラブもあり、楽しく活動しています！

<日水コンの社内クラブ一覧>



<野球部>
例年、合宿・練習に加え、3種類の大会に参加しています！



<テニス部>
練習を1～2回/月、合宿を2回/年実施しています！

支所	活動中のクラブ			
北海道支所	■ゴルフ部	■釣り部	■スキー部	
東北支所	■ゴルフ部	■釣り部		
東京支所	■サッカー部 ■スキー部 ■登山部	■華道部 ■釣り部 ■囲碁部	■テニス部 ■ボウリング部 ■野球部	■現代藝術部（仮）
名古屋支所	■ゴルフ部	■釣り部	■チャリランクラブ	
大阪支所	■ゴルフ部 ■スキー部	■登山部 ■野球部	■サッカー部 ■テニス部	■釣り部
広島支所	■ゴルフ部			
九州支所	■釣り部			

日水コンWLB (Work Life Balance)

潤いある未来へ

「あっ！楽しい」を探して

心の
健康の
維持

「あっ！楽しい」がスローガン。
日水コンは何事にも楽しさを見つけるのが上手な会社です。
一例として、「水辺へGo!」「ま帳」をご紹介します。

水辺へいざなう「水辺へGo!」

「水辺へGo!」とは？

「水辺のすこやかさ指標」を使って川等の水辺環境を調べることで、「水辺の見方」を知り、水辺への関心が高まるアプリを開発しました。
「水辺のすこやかさ指標」とは、環境省が策定したもので、川の景観や生きもの、水のきれいさ等の視点を定めたものです。

アプリの特徴

- ①スマホで簡単、手軽な調査
- ②水辺データ（調査結果・写真・コメント）の蓄積と共有
調査結果と水辺写真を継続して蓄積することができます。
- ③データの有効活用
環境教育や研究材料としてもご利用できます。
- ④情報発信
水辺と触れあうきっかけづくりや水辺の魅力、水辺環境
保全活動のPRへの活用も！

日水コン社員の活用例

家族（お子さん）との水辺観察の記録に活用したり、
新規で担当する自治体の理解促進に活用しています。

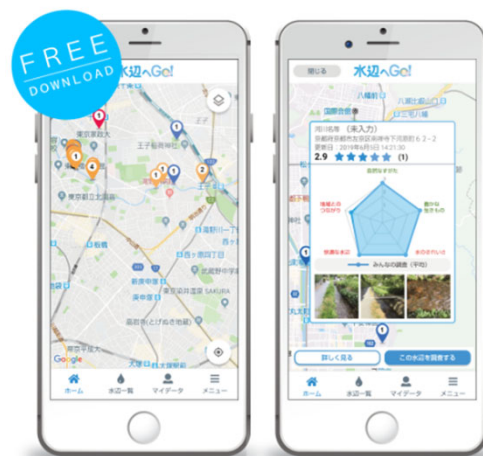


普通河川や準用河川の写真を
蓄積できるアプリは「水辺へGo!」だけ！
いますぐダウンロード！

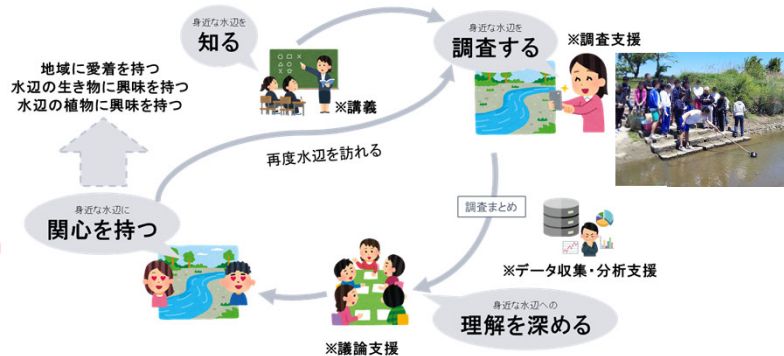
※Apple Store、Google Storeからダウンロードできます
※当アプリは一般財団法人水・地域イノベーション財団が管理・運営しています



↑「水辺へGo!」
ホームページ



＜アプリの画面＞



＜アプリの活用方法＞

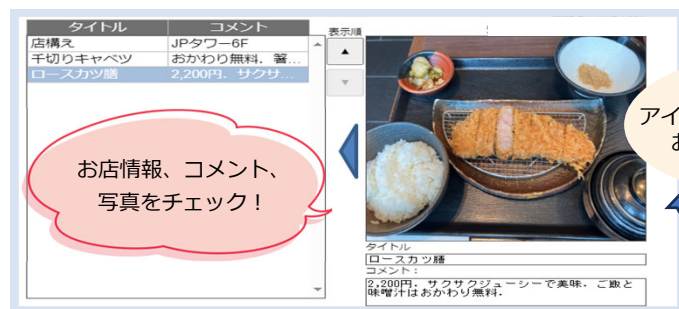
「ま帳」で出張時の楽しさを共有

／あっ！
楽しい／

まちの台帳、略して「ま帳」

出張先での食事は楽しみの一つ。その楽しさを共有すべく、飲食店情報や口コミをマッピングできるシステムを開発しました。それが社内食ベログ「ま帳」です。
これまで約300件の登録があり、情報共有とともに、全国展開の視覚化ができました。
「ま帳」のシステムには日水コンで開発したBlitz GISを活用しており、システム操作方法の習得も兼ねています。

※ Blitz GIS…上下水道の管路管理を行えるクラウド型の台帳システム



＜「ま帳」登録状況＞



「水辺へGo!」のお問合せ先
事務局 TEL : 03-5323-6471
E-mail : secretariat@mizuinfra.or.jp
一般財団法人水・地域イノベーション財団

株式会社 日水コン

お問合せ先 コンサルティング本部下水道事業部
TEL: 03-6323-6300
E-mail: nsc_gesui@nissuicon.co.jp